

## 3月定例山行

### 3月7日 古鷹山

参加者 11名

CL 中島美 SL 村島

鬼武、宮木澄、宍戸

原田、村田、佐々木敏

三重成、牛尾

(会友)牛尾

コースタイム

宇品港 9:05⇒

小用港 9:30→

中郷登山口 10:10→古鷹山主峰頂上 11:30～昼食～12:20→クマン岳→

切串下山口 14:20→切串港 14:45⇒宇品港 15:15(解散)



#### ○

3月なのにととても寒い1日でした。午前中はお天気が良く登り始めてすぐ八重のツバキに出会い、皆で歓声をあげました。足元にはスマレ、アセビの花も咲いていて、山の春が近づいているネ、とのんびりと山歩きを楽しみました。

11名の参加者で、少人数は歩きやすいと感じました。

(記 中島美代子)

#### ○

宇品港から高速艇で20分、あっという間に小用港に到着。11人の一行は中郷の登山口まで30分をのんびり行進です。登山口の駐車場でストレッチをして身体をほぐしていると、「ホッキョ」と鶯の声。まだよく歌えないようですが、春の訪れを実感しました。

いきなりの急登を喘ぎながら登っていると、術科学校の学生と思える若者が小走りに我々のそばをすり抜けて行きました。

あっけにとられながら急登を登りつめると、まもなく尾根筋に出ました。眼下に穏やかな瀬戸の海と江田島、能美と周辺の島々の美しい風景に出会いました。ゆっくりとしたペースで、時折吹く風の冷たさをのぞけば、暖かくのんびりとしたハイキング気分を味わいました。約1時間で頂上。ここからの眺めは抜群でした。わいわいしゃべりながらの楽しいお弁当。それぞれの自慢の一品がつぎつぎまわってきて、すぐに満腹状態になりました。なかでも佐々木さんのワチの酢漬けは絶品でした。

クマン岳を経て、文字通りイバラの山路を藪こぎ。先頭の三重さん、去年の山行の経験から首尾よく用意した鎌でかきわけかきわけ道を拓き、おかげで全員難なく切串めざして縦走できました。途中、ニセアカシアの花や山繭にも出会うことができました。下山中に雪が降ったり止んだりの天候になりましたが、早春の瀬戸を堪能した一日でした。

(記 牛尾清彦)